

岩手県金融経済概況（平成 29 年 6 月）

1. 概 況

県内経済は、緩やかな回復基調を続けている。

最終需要の動きをみると、個人消費は底堅く推移している。公共投資、住宅投資は、高水準で推移している。設備投資は増加傾向を維持している。

生産は、緩やかに持ち直している。

雇用・所得環境をみると、労働需給は改善しているが、雇用者所得は前年を下回っている。

消費者物価（除く生鮮食品）は、5 ヶ月連続で前年を上回った。

2. 最終需要

(1) 個人消費

個人消費は、底堅く推移している。

百貨店売上高（平成 29 年 6 月）は、衣料品の不調を主因に 2 ヶ月振りに前年を下回った（前年比△2.4%）。

スーパー売上高（全店舗ベース；平成 29 年 5 月）は、3 ヶ月振りに前年を下回った（前年比△0.3%）。

新車登録・届出台数（登録車＋軽；平成 29 年 6 月）は、10 ヶ月連続で前年を上回った（前年比+17.8%）。

(2) 建設投資（公共投資、住宅投資、設備投資）

公共工事請負金額（平成 29 年 6 月）は、2 ヶ月連続で前年を上回った（前年比+18.0%）。

新設住宅着工戸数（平成 29 年 5 月）は、3 ヶ月振りに前年を下回った（前年比△18.8%）。

—— 持家（前年比 $\Delta 23.1\%$ ）が3ヵ月振り、貸家（同 $\Delta 3.5\%$ ）が2ヵ月振りに前年を下回ったほか、分譲も2ヵ月連続で前年を下回った（同 $\Delta 33.7\%$ ）。

民間設備投資（短観ベース；平成28年度実績、29年度計画）は、28年度は前年を上回った（前年比 $+5.2\%$ ）ほか、29年度も前年を1割方上回る計画（同 $+11.2\%$ ）となっている。

—— 平成28年度（実績）は、製造業は前年を下回ったものの、非製造業で店舗改装、新規出店等がみられ、全産業では前年を上回った。

—— 平成29年度（計画）は、製造業で、維持更新投資や能力増強投資が、非製造業でも設備更新投資等がみられ、全産業で、前年を上回る計画。

県内の官民建設工事全体の出来高総計（平成29年5月）は、2ヵ月連続で前年を下回った（前年比 $\Delta 6.3\%$ ）。

3. 生産動向

生産は、緩やかに持ち直している。

鉱工業生産指数（季節調整値；平成29年4月）は、2ヵ月振りに前月を上回った（前月比 $+6.2\%$ ）。

—— 4月の動向を主要業種別にみると、生産用機械、輸送機械、電子部品・デバイスが上昇し、金属製品、情報通信機械、その他製品が低下した。

なお、四半期の動きをみると、28/1～3月（前期比 $+0.5\%$ ）、4～6月（同 $+1.4\%$ ）と2期連続で前期比増となったものの、7～9月で一旦減少（同 $\Delta 0.3\%$ ）。その後、10～12月（同 $+1.2\%$ ）、29/1～3月（同 $+2.4\%$ ）と前期比増を続けている。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境をみると、労働需給は改善しているが、雇用者所得は前年を下回っている。

有効求人倍率（季節調整値；平成29年5月）は、1.40倍と高水準を維持（平成25年5月以降49ヵ月連続で1.00倍以上を記録）。

雇用保険被保険者数（民間企業中心の全数調査；平成29年5月）は、前年を上回った（前年比 $+1.6\%$ ；平成24年3月以降63ヵ月連続で増加）。

雇用者所得（県内合計値；平成29年4月）は、常用雇用指数が前年を上回った（前年比 $+0.1\%$ ）ものの、名目賃金指数が9ヵ月連続で前年を下回った（同 $\Delta 3.7\%$ ）ことから、5ヵ月連続で前年を下回った（同 $\Delta 3.6\%$ ）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品）（平成 29 年 5 月）は、食料（除く生鮮食品）、光熱・水道の上昇等を主因に 5 ヶ月連続で前年を上回った（前年比+1.3%）。

6. 企業倒産

企業倒産（平成 29 年 6 月）は、6 件、5.2 億円（前年同月；7 件、4.8 億円）と落ち着いた動き。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（平成 29 年 5 月）は、預金は前年を上回る一方、貸出は前年を下回った。また、貸出約定平均金利は、横這い圏内の動きとなっている。

以 上

本件に関する問い合わせ先：

日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622（代） <http://www3.boj.or.jp/morioka/>